

平成 30 年 11 月 21 日

よこはま北部ユースプラザの利用者、保護者、関係者のみなさまへ

———月一の会による事業終了のお知らせ———

特定非営利活動法人 月一の会

このたび月一の会では、平成 31 年 4 月からの事業継続のための公募に応募することなく、来年 3 月末日をもって「よこはま北部ユースプラザ」の運営から退くこととなりました。利用者、保護者、関係者のみなさまには大変お世話になりました。3 月末日までは変わらず運営しますので、残りの 4 か月余りの間もよろしく願います。

来年 4 月からは新たな運営法人がこの北部ユースプラザを運営することとなります。4 月からのスタッフがどのようになるのかについては、新たな運営法人が決めることとなるので、それまでお待ちください。その内容によって 3 月までに利用者、関係者のみなさまには何らかのお知らせをすることがあると思います。ご不安、ご心配等をおかけすることもあると思いますが、ご理解をいただきたいと考えています。

これまで月一の会では若者支援、若者に寄り添うことを第一に考え、施設の運営に努力してきました。利用者、関係者のみなさまのご協力もあり、若者の抱える問題に取り組み、良い方向に向かうことに共に歩んでいくことができたと考えています。また、利用した若者にとっても、我々スタッフにとっても、いい時間を過ごせたという実感を持っています。ただ、必ずしもすべての若者の行く末を見届けられなかったことは反省の点になると思います。そのような若者もこの施設を離れたところでいい方向に向かっていくことを祈るばかりです。

今回、運営を退くことを決めたのは、ここ数年、運営にあたっての職員の配置に大変苦心をしていて、人材の流出が続くのと、それを補う適切な人材の確保が難しくなり、このままでは適切な運営を続けることは不可能と考えたためです。人材の確保がうまくいかないのは、特に常勤スタッフについてですが、当法人が大変小さな組織であること、景気の回復により雇用情勢が改善され求人が 40 数年ぶりの多さとなり人材確保の競争が厳しくなっていること、それにまさるための勤務条件、待遇を提示するための予算が十分でないこと等、当法人の権限ではない問題が大きな要因になると思います。当法人にそれらを補うものがなかったり、NPO の役割についての理解を深めることができなかったことは残念で、この間利用者、保護者の方々には、少なからず不安にさせてしまったことはお詫び申し上げます。

当法人は大変小さな法人ですが、20 年程前より親の会を中心に始まり、若者も多く利用することになりました。その後、横浜市青葉区からの話もあり、当ユースプ

ラザの運営を行うことになり今年度で10年目となりました。この10年の間で世の中の変化によって、施設に求められるものも少しずつ変わってきているのを実感しています。その中で、法人独自で運営する「Cafe あぷりこっと」はユースプラザと連携して、若者の社会参加、就労への道を一番多く切り開いたものと実感しています。

当法人がユースプラザの運営を止めるのと直接の関係はないのですが、「Cafe あぷりこっと」も来年1月末をもって営業を終了いたします。直接な関係はないながらも、そのような時期なのでしょう。北部ユースプラザと「Cafe あぷりこっと」の連携が成してきたものは大変有意義なものであったと実感しています。Caféを利用してくれた方、お弁当を買ってくれた方、Caféの営業に協力してくれた方、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後のユースプラザは、時代と世の中の変化とともに、求められるものも変わり、その時々でスタッフは努力していくことになるのですが、月一の会が最初の10年間で作った何らかのものがこれからもいいものとして残っていくことになればいいと思います。

3月末まであと残り数か月ですが、この残りの数か月もこれまでと変わらない若者支援を行い、次期運営法人にスムーズに引き継ぐことに努力していく所存です。少し早くなりますが、10年間ありがとうございました。